



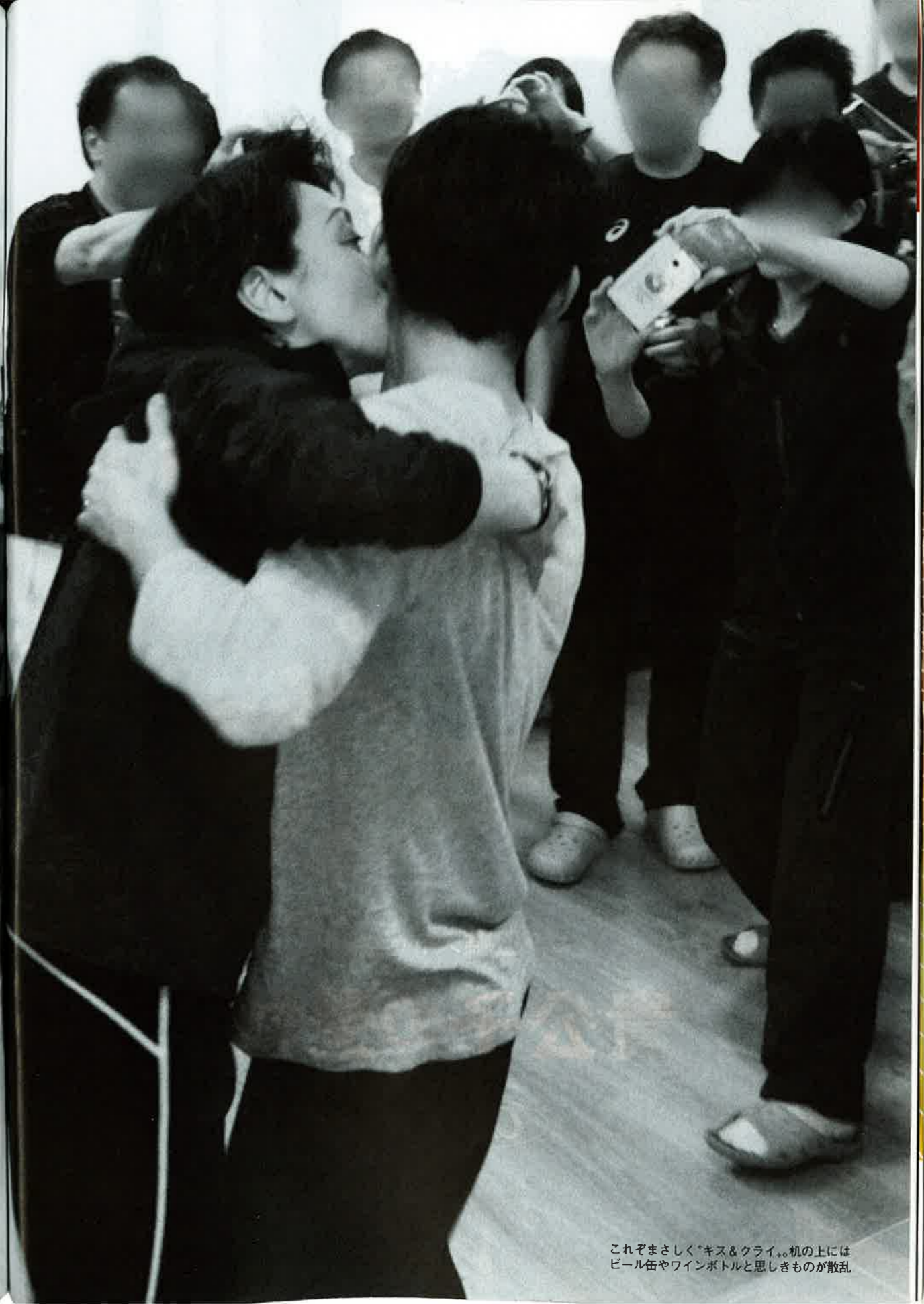
ソチ五輪スキャンダル

高橋大輔

貴公子の受難

CATCH UP

手はガッチリ絡められ、嬉しさのあまりか橋本氏の瞳はキス中も高橋選手を直視している



これぞまさしく「キス&クライ」。机の上にはビール缶やワインボトルと思しきものが散乱

酒が入った聖子は、大輔を抱き寄せ、熱いキスを浴びせ続けた……

オリンピックの熱気と興奮が、彼女を燃え上がらせてしまったのか。

二月二十三日に幕を閉じたソチ五輪。男子フィギュアに登場した高橋大輔選手(28)は、怪我に苦しみながらも渾身の演技を披露し、日本中を感動させた。だが、そんな彼に思わぬ「悲劇」が訪れる。閉会式後の深夜、選手団団長で自民党参議院議員の橋本聖子氏(49)が、選手村にあるJOCの部屋にスケート選手たちを招集。酒盛りが繰り広げられた。

「羽生結弦選手が金メダルを獲得し、肩の荷も下りたのでしよう。酒が入った彼女は、次から次へと選手たちに抱きついていきました」(参加者)

そして、いよいよ、氷上の貴公子、高橋選手の番が回ってきた。

「抱擁だけで収まらず、執拗にキスを迫り、首筋に唇を這わせていました。周りにも囁し立てられ、上司である団長には逆らえなかったのでしょうか。とうとう観念し、キスを受け入れました」(同前)

橋本氏はJOC常務理事兼選手強化本部長であり、日本スケート連盟会長も務める、スケート界では絶対的な存在である。これは自身の権力を利用した、パワハラ、セクハラといえるだろう。高橋選手ファンに対して、どう弁明するのか。(特集記事も併せてお読みください)



イケメンに挟まれご満悦? (橋本氏のフェイスブックより)



高橋大輔に無理チューし

その心中やいかに

「一回、二回とかそういうレベルじゃないですから。一度始まったら取捨がつかない。みんなが見ている前で、もう何回も何回も何のために？ って引くくらい繰り返し……」（同前）
実は高橋は、橋本氏の大

女性大臣候補に赤面スキャンダル セクハラ写真公開

橋本聖子

日本スケート連盟会長

ソチ五輪閉会式打ち上げの夜、選手村で酒を飲んだ橋本は、お気に入りの大輔に抱きつき指を絡ませるとキスの嵐を――。



衆人環視の中、吸いつくようにキス

立場を考えてほしい

「最高の選手と、最高の監督、コーチ、スタッフに恵まれて、最高のチームジャパンで大会に臨めたことを大変うれしく思う」
ソチ五輪最終日の二月二十三日。日本選手団の橋本聖子団長（49）は閉会式前にした総括会見で、「最高」という言葉を三度繰り返した。全競技を終えたにもかかわらず、引き締まったままの表情で語る橋本氏。その顔が「最高」に緩むのは、閉会式を終えた後だった――。
日付が変わり深夜二時。日本への帰り支度を進めていたスケート競技の選手とスタッフに、「団長部屋」と呼ばれるJOC（日本オリンピック委員会）の一番大きな部屋へ集合がかかった。そこには橋本氏らJOCスタッフにより打ち上げパーティーが用意されていた。宴は数十人が出入りしながら、朝五時ごろまで続いたという。
しかし、選手団の一人はあることが気にかかったという。
「打ち上げにはケータリン

グの食べ物と一緒にお酒がありました。お酒の持ち込みは禁止されていたのに、どうやって持ち込んだのかなと不思議でした」
文書による規定では禁止されていないが、ソチ五輪の選手村は、実際の運用ではアルコールの持ち込みは禁止されており、「過去のオリンピックに比べても、非常にお酒に対する規制が厳しかった」（選手団スタッフ）という。たとえば二月十三日付の東京新聞は「選手はともかく、コーチ陣らを買って帰ったビールを入り口で没収されたという話を何度か聞いた。（中略）飲酒スペースを設けて、祝勝会くらいは開けるように

してもらいたいと思う」と報じている。
橋本氏は「日本酒を愛する女性議員の会」のメンバーであり、その酒好きは周囲によく知られている。「彼女はお酒がものすごく強い。ワインでもなんでもクイクイ飲むんだよ。選手とも飲んだりしているみたいですよ。積極的にコミュニケーションを取ろうとしているようです」（スピードスケート関係者）
バンクーバー五輪に続き、二大会連続で団長を務めた橋本氏。その重責から解放され、高揚した気分で酒を楽しんでいたことは想像に難くない。
そこで、事件は起きた。

身体をよじらせてキスをかわすも……

橋本氏が会の最中、急にフィギュアスケート日本代表の高橋大輔（28）をそばに呼び寄せた。それから起きた衝撃のシーンを参加者の一人が打ち明ける。
日本スケート連盟会長にしてJOC常務理事、現役の国会議員で入閣の有力候補にも挙げられる。そんな強大な「権力」を持つ人物が、

自らがトップに立つ組織に所属する選手に無理にキスを迫ったら……。前代未聞の「セクハラ事件」を現場写真とともに伝える。

「お気に入り」という。日本スケート連盟関係者の話。「橋本さんはスピードスケート出身だけに、二〇〇六年に会長になった頃はフィギュアのことは全くわかっていなかった。会長としていろんな大会に出席するうちに、スピードスケートにはいないタイプの高橋にすっかり魅せられたんです。高いスケートティング技術と情熱的な演技で、日本人選手には珍しく、フェロモンを感じさせるタイプの高

少子化担当兼五輪担当相に？

韓国で開催された〇八年の四大陸選手権にも『フリーの演技には間に合うように行きたい。激励したいから』と言って追いかけていました。自国開催でもないし、会長として行く義務もないのですが」（同前）
ソチの打ち上げの場に話を戻そう。

「笑って見ている人も多かったですが、なかにはさすがにマズイと思って『お前が止めるよ』と言いつけている人たちもいた。でも、

やっぱりその場では（引きがすのは）難しかった。ひとしきりやった（キスした）後に、自分でもマズイと思ったんでしょう。口外しないようにと自分で言っていました。みんなバシヤバシヤ写真を撮っていましたから。
ただ、翌日は「あれはマズイでしょ」「これはバレンタイン大変なことだな」とみんな話していました」（別の打ち上げの参加者）

橋本氏は日本スケート連

盟会長であり、JOC常務理事にして選手強化本部長という強大な「権力」を持っている。また、二〇年の東京五輪に向けた組織委員会の理事も務め、日本のスポーツ界の中枢にいる人物だ。一方の高橋はJOCから支援を受ける現役選手。これは、立場を利用したセクハラ行為と指摘されても仕方ないだろう。

そのうえ、橋本氏は現役の国会議員でもあり、いまや政治家としても政府の中枢に近づきつつある。

「九月第一週に予定されている安倍内閣の改造人事で、女性閣僚の登用が注目されています。小淵優子氏、九川珠代氏らの名前が上がっていますが、なかでも参院四期目の橋本聖子氏は、最有力候補の一人。スポーツ界出身であり、三人の子供を産んだ母親でもあることから、少子化担当兼五輪担当などが予想されます」（全国紙政治部デスク）

小誌が橋本氏本人の携帯

電話に連絡をして取材を申し込んだところ、
「電話できない状況でショートメールで申し訳ございません」

とのメールが送られてきた。以下は橋本氏とのメールのやり取りである。
「ソチで橋本先生が高橋大輔選手にキスした件です。直接ご説明を聞かせていただきたいです。」

「何方から聞きましたか？それはありません」

「写真があります。」

「何方が撮った写真ですか？」

「それはお教えできません。」

「どちらにしても都内に居ないのでありません」

その後、面会による取材を申し込んだが断られた。

橋本氏は飲酒や、無理チユー^①について、周囲には次のように弁明している。

「最初は（選手村の外にある）ジャパンハウスで予定していたが、閉会式などの時間が押してしまったので、料理と酒を選手村に移してやることになった。閉会式の後だから、期間中

ではなく、慣例的には他の国でもやっている。（高橋へのキスについては）頑張った息子に、ママのところに来なさい、という思い。最初は嫌がっていたが、その後はそんなことはなかった」

あらためて事務所に取材を申し込むと、秘書を通じて、文書で回答があった。

まず、飲酒への疑問についてはこう回答した。

「大会関係マニユアルでは、選手団及び個人のいずれもアルコール類を含む飲食物をオリンピック村に持ち込むことができると定められています。毎回、オリンピック閉会式後の打ち上げは各国それぞれ自国スタイルで行われており、ソチではロシア・アメリカ・カ

男性にもキスを受けない自由が

橋本会長が高橋大輔選手にキスをしたということがありました。

「ほっぺくらいなら、いいじゃないか。別に（笑）」

唇と唇でしています。

「あまり意味無いけど？」

立場が上の人が、下の

ナダ・イタリア等は選手棟前の外の広場でお酒を振る舞い、盛大なパーティーとなっておりました」

一方、高橋へのセクハラ行為についてはこう書いている。

「キスを強制した事実はありません。選手団の選手や役員は、外国の選手等との交流が多く、打ち上げなどでは、ごく自然にハグやキスをする場合があります。

但し、一般の方の誤解を招くようなことがあったとすれば、気を付けなければならぬと反省しています」

スケート界ではあの写真のようなキスが「ごく自然」なのか。橋本氏の大先輩、スケート連盟副会長の鈴木恵一氏（71）に話を聞いた。

人にそういうことをしたら、セクハラにあたりますよね。「いや、あたらない。男だから、ハハハ。大輔だから」

例えば浅田真央さんが男性の連盟役員に同じことをされたらどうですか？

「度胸あんじゃねえか、お

灵芝を愛飲の皆様におトクなニュースです！

日本をはじめ、アメリカ・中国の州、国立大学でも
研究用に採用された

高品質 飛騨灵芝

よいものだからこそ長く愛飲してほしい。そう考えたから、この価格が実現しました。三十年以上にわたる科学的な研究、栽培実績の成果を結集したのが「飛騨灵芝」です。その品質は国内・海外で高く評価され、研究用灵芝として採用されています。*「飛騨灵芝」は産物です。

1kg (200g) 30,000円
500g 17,000円 (送料別)

だから長期愛飲者こそ、自信を持ってお勧めします

ご注文
お問合せ

http://www.dai1-yakusan.co.jp/
飛騨灵芝 第一産業 検索

0120-32-0963

※送料・送料等ご負担にお願いします。
※開封前、到着後7日間返品可（送料・送料等ご負担）

第一産業株式会社 〒506-0003 岐阜県高山市本母町59

前ほど、言っちゃうね（笑）

しかし、セクハラ問題に詳しい間川清弁護士はこう指摘する。

「セクハラとは、相手方の性的自由を奪うことです。男性にも性的自由がありますので、キスなどを受けられない自由はあるわけです。力関係も問題です。立場が上の人からの要請であれば断ることは非常に難しいでしょう。行為と相手方の関係、立場がセクハラにおいては非常に重要になります」

「セクハラ被害」に遭った高橋は、マネージャーを通じて文書でこう回答した。

「打ち上げ最後に、関係者がハグして健闘を讃えあい、スケート選手は海外遠

征などで外国人と接する事も多く、関係者が挨拶のハグやキスに至った経緯と状況が「ございます」

橋本氏は近くで見てきた別のスケート連盟関係者が語る。

「橋本氏は前会長の金銭スキャンダルで地に墜ちた連盟のイメージを一新するべく、会長に就任しました。しかし、このようなセクハラ問題を起こし、周囲のスタッフも止めずに隠蔽するというのは、昔の体質と変わりませんよ」

来季は休養が決まっている高橋。独身の彼にどうして、せめてこの件が、トラウマ^②になっていないことを祈りたい。